

令和5年度第1回諫早市介護予防・日常生活支援推進会議要旨

1. 日時：令和5年7月12日（水） 19：00～20：30
2. 場所：諫早市健康福祉センター2階第一会議室
3. 協議内容

（1）介護予防と生活支援の地域づくりフォーラムについて

- ・事務局より「介護予防と生活支援の地域づくりフォーラム」について報告
- ・質問、意見なし

（2）介護予防（フレイル予防）の普及について

- ・事務局より令和4年度第2回推進会議において出された意見と対応経過報告

（質問①）

前回の意見に対して要検討と実施中とある。要検討はこれから検討して、実施できたかできなかったか、またできなかった理由等を次回の会議で説明いただけるのか。（小無田座長）

（回答①）

要検討の内容については、検討し、進捗状況を推進会議で報告していく。（事務局）

（質問②）

フレイルチェックの実施項目は国から基準を示されているのか。（小無田座長）

（回答②）

国から示されたチェック表に準じて行っている。（事務局）

体のフレイルを評価する基準として一般的なものでJ-CHSというものがあり、歩行テスト、握力、体重減少、疲労感、身体活動の5項目が調査対象です。そのほかにも下肢筋力やバランステストをみるような評価項目があり、おおむね高齢者の身体機能自体は評価できるものである。

（山口委員）

(3) 介護予防教室の自主活動継続支援について

- ・事務局より介護予防教室の自主活動支援内容について説明を行った。
質疑応答後グループワークを実施した。(グループワークの意見は別紙のとおり)

(質問①)

支援の経過で「支援者が～、参加者が～」とあるが、どのような人を指すか。(森芳委員)

(回答①)

支援者は介護予防教室を実施している専門職の先生方(作業療法士、理学療法士、歯科衛生士、歯科医師、管理栄養士)や地域包括支援センター職員、市職員があげられる。参加者は教室に参加いただいている方々です。(事務局)

(質問②)

途中で続けるためのフォローとして電話で活動支援とあるが、定期的に行政から連絡するような定期的なものか、相談を受け付け、対応するようなものなのか。(林田委員)

(回答②)

活動支援実施後、期間などは特に決めず、市が活動状況等について気になったタイミングで電話をかけてフォローアップしている。また、参加者からの相談については、随時対応している。(事務局)

(質問③)

受託事業者に対する自治公民館活用加算、自主化促進加算とはどのようなものか。
(松尾委員)

(回答③)

自治公民館活用加算は会場として自治公民館を活用した事業者に対し、2,050円を加算するというものである。自主化促進加算は今年度8会場を選定し、今後の自主化について支援者と参加者とで話し合っただくことで2,050円を加算するものである。(事務局)

(4) その他

- ・特になし